

日興レジェンド・イーグル・ファンド（資産成長コース）、日興レジェンド・イーグル・ファンド（円ヘッジコース）、日興レジェンド・イーグル・ファンド（毎月決算コース）の3つのコースを総称して「日興レジェンド・イーグル・ファンド」または「ファンド」「当ファンド」という場合があります。

41年ぶりの 高水準



何のことだと思われませんか？
実は、日本のインフレ率なのです。

日本の消費者物価指数(除く生鮮食品)(前年同月比)は、2023年1月に1981年9月以来の+4.2%に。2023年11月までの平均値も+3.2%と、高い水準が続いています。

モノの値段が上がるインフレの世界では、これまで通りの生活を楽しむためにも運用でお金を増やす大切さが増します。



インフレ=モノの値上がりが進むと...

(例) ¥100 → ¥120



これまでと同じ金額でモノが買えなくなる

何かしなきゃとは思うけど、
投資することで大損をするのが
怖いなあ...



一般的に、インフレに強い資産といえば株式ですが、長期投資で資産を育てるために、「大きな損をしない」という哲学で運用されているファンドがあることをご存知ですか？



インフレ対応
株式

取り返しのつかない
大きな損を
しない哲学

「大きく儲ける」、ではなくて「大きな損をしない」ことを大切にするなんて面白いね。なんというファンドなの？



2024年からのNISA成長投資枠の対象にもなっている「日興レジェンド・イーグル・ファンド」というファンドです。次のページから、ファンドのユニークな特長についてご説明いたします！



ファンドの
ポイント

資金動向、市況動向の急変により上記の運用が困難となった場合、上記と異なる運用を行う場合があります。

当資料は、過去の実績に基づくものであり、将来の投資収益等を保証するものではありません。5～7ページに記載の「投資リスク」、「ファンドの費用」、「当資料のお取扱いについてのご注意」等を必ずご確認ください。



ファンドは、「損をしない」という哲学を貫くために、金関連資産や現金等を株式と併せ持つユニークなポートフォリオで運用されています。

「金」には富裕層も分散投資していると聞いたことがある！



「現金」は投資していないお金ではなくていつでも投資できるための戦略的な備えなのね！

運用チーム^{※1}の一貫した投資哲学

資産の保全

鉄則1: 損をしないこと^{※2}

鉄則2: 鉄則1を決して忘れないこと^{※2}

長期的な投資によって資産を増やす為には、取り返しのつかない大きな損失を出さないことが決定的に重要。

資産保全に最も重要な事は、(仮に、自分以外が全員投資していても)分からない物には決して手を出さないこと。

バリュー投資

長期投資

株価は短期的には企業価値からかい離することがあるが、長期的には本源的価値^{※3}に収れんする。→長期的な投資家には収益機会が存在する。

バリュー投資の徹底

常に十分に割安な水準で投資し、割高な水準では売却する。→例外を設けない投資。

本源的価値に対する割安度合という明確な投資基準を持つことにより、不透明な環境下でも合理的な投資判断を下す。

株式は
クオリティと
バリューで厳選



圧倒的な地位や希少性を有する企業に割安な水準でのみ投資

金は
不測の事態への
守りの役割



株式市場の混乱や急落に対するヘッジの役割を期待

現金は
投資機会への
備え



突然の投資機会を逃さない
また、市場下落時のクッションにも

日興レジェンド・イーグル・ファンドの資産配分(イメージ図)



※1 米国の運用会社 ファースト イーグル インベストメント マネジメント社(以下、ファースト・イーグル・インベストメンツ)の運用チーム

※2 米国の著名な投資家であるウォーレン・バフェット氏の投資哲学を継承。

※3 ファースト・イーグル・インベストメンツの徹底した独自分析により算出した「企業が本来有する価値」。

上記は、例示をもって理解を深めて頂くことを目的としたイメージ図です。

【ご注意】 上記はファースト・イーグル・インベストメンツのグローバル・バリュー戦略の運用チームの投資哲学であり、日興レジェンド・イーグル・ファンドの将来の運用成果等を示唆または保証したものではありません。

資金動向、市況動向の急変により上記の運用が困難となった場合、上記と異なる運用を行う場合があります。

投資哲学の「バリュートラップ」って、つまりバリュートラップ(割安株)に投資すること？



いいえ。一般的なバリュートラップとは一線を画す「独自のバリュートラップ戦略」です。たとえばIT(情報通信)などのグロース株式に投資することもあります。



**有形・無形の
希少な資産**

**独自の基準
本源的価値**

企業選定における着目点
資産の希少性を重視

企業が本来有する価値より割安な水準での投資で大きな損を回避

本源的価値※を軸とした投資の徹底

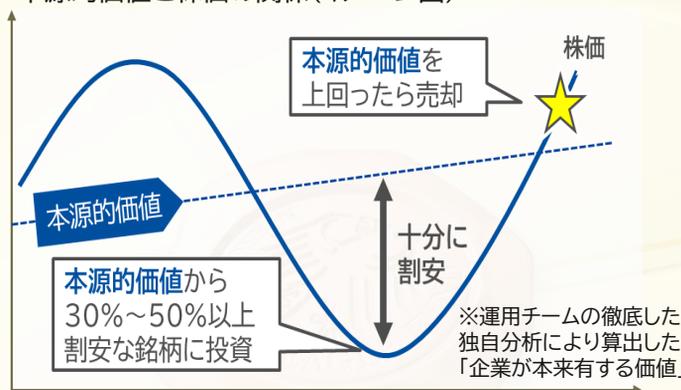
本源的価値と株価の関係(イメージ図)

無形の資産

- 突出したブランド力
- スケールメリット
- 独自のノウハウ
- 囲い込み戦略ビジネスモデル

有形の資産

- エネルギー・貴金属
- 森林・採石場
- 一等地の不動産



上記は、例示をもって理解を深めて頂くことを目的としたイメージ図です。

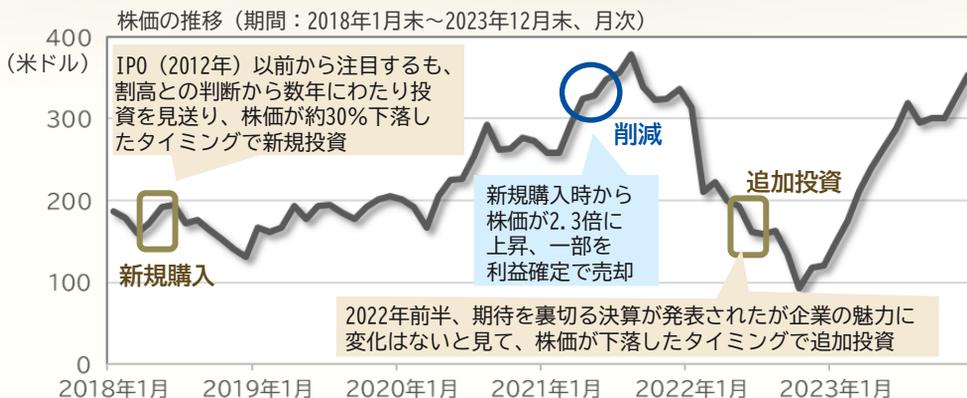
「割安水準での投資を徹底」することで、反発局面を効率的に捉える

投資タイミングの例:メタ・プラットフォームズ

フェイスブック、インスタグラム、メッセンジャーなどで構成される世界最大のオンライン・ソーシャルネットワーク・プラットフォーム

投資のポイント

- 利用者の囲い込みによる収益の安定感
- スケールメリットによる競争優位性
- 厳しい事業環境でもキャッシュフロー創出の実績



なるほど！
「割安株」ではなくて、
運用チームのお眼鏡
にかなった銘柄が
「割安になった時」に
投資するんですね。



出所:ファーストイーグルインベストメントの情報を基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。上記は、あくまでも理解を深めて頂くために例示したものであり、いかなる個別銘柄の売買等を推奨するものではありません。また将来のファンドへの実質的な組入を保証するものではありません。上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

【ご注意】上記はファーストイーグルインベストメントのグローバル・バリュートラップ戦略の運用チームの投資哲学であり、日興レジェンド・イーグル・ファンドの将来の運用成果等を示唆または保証したものではありません。十分にご注意ください。

資金動向、市況動向の急変により上記の運用が困難となった場合、上記と異なる運用を行う場合があります。

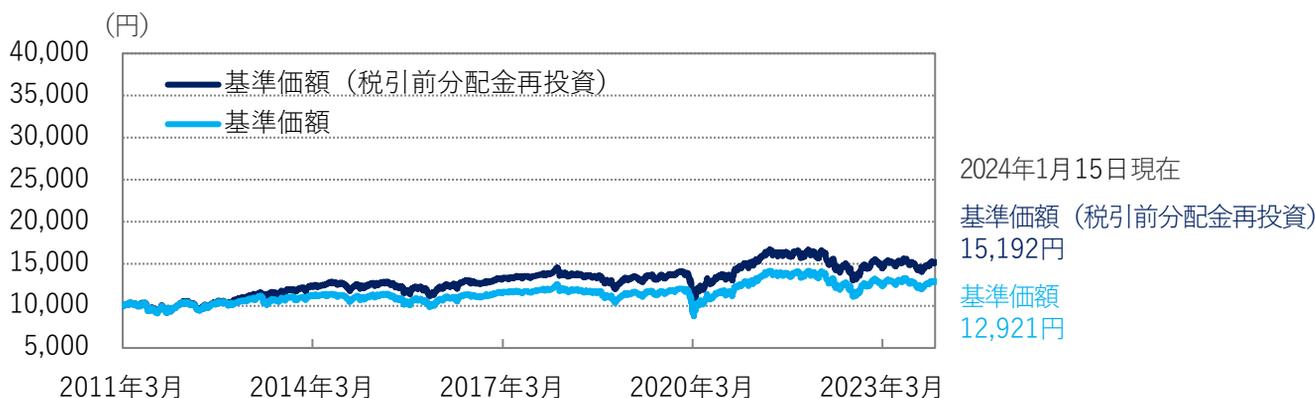
当資料は、過去の実績に基づくものであり、将来の投資収益等を保証するものではありません。
5~7ページに記載の「投資リスク」、「ファンドの費用」、「当資料のお取り扱いについてのご注意」等を必ずご確認ください。

日興レジェンド・イーグル・ファンド 設定来の運用実績

資産成長コース (2009年9月11日(設定日)～2024年1月15日、日次)



円ヘッジコース (2011年3月18日(設定日)～2024年1月15日、日次)



毎月決算コース (2011年3月18日(設定日)～2024年1月15日、日次)



基準価額は信託報酬控除後、一万口当たりの値です。
基準価額 (税引前分配金再投資) は、税引前分配金を分配時に再投資したものと計算しています。

ファンドの目的

ファンドは、投資信託証券への投資を通じて中長期的な投資信託財産の成長をはかることを目標として運用を行います。

ファンドの特色

1 米国有数の独立系運用会社ファースト イーグル インベストメント マネジメント社(以下、ファースト・イーグル・インベストメント)が運用する「ファースト・イーグル・グローバル・バリュースター・ファンド(以下、マスター・ファンド)」へ、主に投資します。

● 主としてケイマン籍の外国投資信託「マスター・ファンド」の受益証券と国内籍の投資信託「CAマネーボールファンド(適格機関投資家専用)*」の受益証券に投資します。世界の株式等への実質的な投資は「マスター・ファンド」を通じて行います。

● 「マスター・ファンド」の運用は、ファースト・イーグル・インベストメントのグローバル・バリュースター・チームが行います。また、「CAマネーボールファンド(適格機関投資家専用)」の運用はアムンディ・ジャパン株式会社が行います。

* 2023年9月6日付で投資先ファンドを「Amundi Funds キャッシュ・USD」から「CAマネーボールファンド(適格機関投資家専用)」へ変更し順次入替を行います。当資料では、入替が完了することを前提に記載しています。

2 主に割安と判断される世界の株式等に実質的に投資し、ドルベース*で相場環境にかかわらずプラスのリターンを追求することで投資信託財産の長期的な成長を目指します。

● 世界各国(エマージング地域にも投資することがあります。)の株式を対象として、ボトムアップ方式により個別銘柄の調査を行い、PBR等の伝統的なバリュエーション分析のほか、フリーキャッシュフロー等、様々な分析を加え、財務内容を徹底的に分析します。

● 分析の結果、十分に割安で魅力的であると判断した銘柄でポートフォリオを構築します。

● ファンドは、特定の株価指数にとらわれず運用を行うため、ベンチマークを設定していません。

● 「マスター・ファンド」において、ドルベースでのパフォーマンスを向上させるために、ドル以外の他通貨売り/ドル買いの為替取引(ドルベースでの為替ヘッジ)を行うことがあります。

※当資料では、「ドル」とは米ドルのことを指します。

3 「資産成長コース」、「円ヘッジコース」、「毎月決算コース」それぞれの間で無手数料でスイッチングが可能です。

● スwitchingの際には、換金時と同様に税金がかかりますのでご注意ください。

◆資金動向、市況動向等の急変により上記の運用が困難となった場合、上記と異なる運用を行う場合があります。◆

投資リスク

各ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として世界各国の株式など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクがあります。)に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではありません。**ファンドの基準価額の下落により、**損失を被り投資元本を割り込むことがあります。**ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。

基準価額の変動要因としては、価格変動リスク、金利変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等が挙げられます。なお、基準価額の変動要因(投資リスク)は、これらに限定されるものではありません。また、その他の留意点として、ファンドの繰上償還、流動性リスクに関する留意事項等があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

当資料のお取扱いについてのご注意

- ・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- ・投資信託は、値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクがあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。投資信託の基準価額の下落により、損失を被り投資元本を割り込むことがあります。投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- ・当資料に記載されている運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。
- ・当資料に記載されている内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
- ・投資信託のお取引に関しては、クーリング・オフの適用はありません。
- ・当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- ・お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

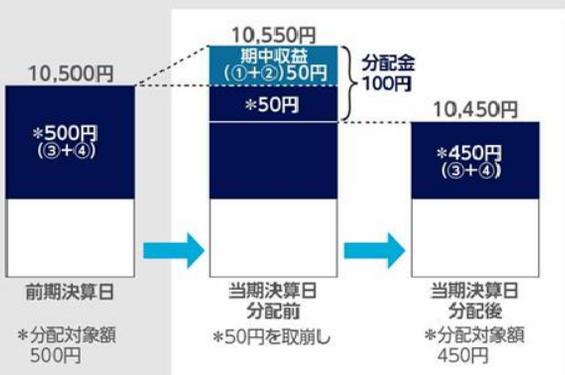
【投資信託で分配金が支払われるイメージ】



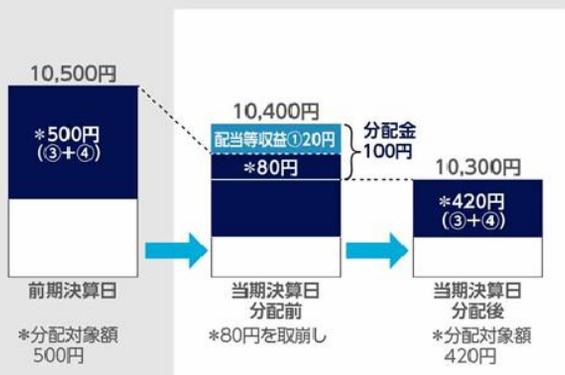
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

【計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合】

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合

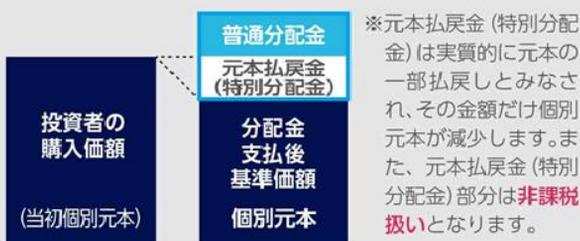


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

お申込みメモ

	資産成長コース	円ヘッジコース	毎月決算コース
購入単位	(新規申込)20万円以上1円単位 (追加申込)1万円以上1円単位 (投信自動積立)1万円以上1千円単位		
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。		
換金単位	1円以上1円単位		
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。		
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して、6営業日目からお支払いします。		
購入換金申込受付不可日	ニューヨークもしくはケイマンの銀行休業日またはニューヨーク証券取引所の休場日の場合はスイッチングを含め、受け付けません。		
申込締切時間	三井住友銀行においては、原則として毎営業日の午後3時までに、お申込・ご換金の手続きが完了したものを当日受付分とします。		
換金制限	換金の申込総額が多額な場合、投資信託財産の効率的な運用が妨げられると委託会社が合理的に判断する場合、諸事情により金融商品市場等が閉鎖された場合等一定の場合に換金の制限がかかる場合があります。		
信託期間	原則として、無期限とします。 (設定日:2009年9月11日)	原則として、無期限とします。 (設定日:2011年3月18日)	
決算日	年2回決算、原則毎年6月、12月の各5日*です。 *当該日が日本の休業日の場合は翌営業日とします。		年12回決算、原則毎月5日*です。
収益分配	原則として年2回の決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。 収益分配金は税金を差引いた後、無手数料で自動的に再投資されます。		原則として年12回の決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。
信託金の限度額	各コース1兆円です。		
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度(NISA)の適用対象であり、2024年1月1日以降は一定の要件を満たした場合にNISAの適用対象となります。資産成長コースおよび円ヘッジコースは、2024年1月1日以降のNISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象となる予定ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。 ※上記は2023年4月末現在のものです。税法が改正された場合等には、変更される場合があります。 配当控除および益金不算入制度は適用されません。		
スイッチング	資産成長コース、円ヘッジコースおよび毎月決算コースそれぞれの間で無手数料でスイッチングが可能です。スイッチングの際には、換金時と同様に税金がかかりますのでご注意ください。詳しくは三井住友銀行にお問合せください。		

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

株式会社三井住友銀行における購入時手数料率は、お申込み金額*に応じて、以下のようになります。

お申込み金額	手数料率
1億円未満	3.300% (税金3.00%)
1億円以上5億円未満	1.650% (税金1.50%)
5億円以上10億円未満	0.825% (税金0.75%)
10億円以上	0.550% (税金0.50%)

※お申込み金額=(購入価額×購入口数)+購入時手数料(税込)

【ご注意ください】例えば、お申込み金額1,000万円でご購入いただく場合、指定金額(お支払いいただくお申込み金額)の1,000万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、1,000万円金額が当該投資信託のご購入代金となるものではありません。

信託財産留保額	ありません。
換金時手数料	ありません。

投資者が投資信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	各コースの純資産総額に対し 年率1.232%(税金1.120%) をそれぞれ乗じて得た金額とします。各コースが投資する投資信託証券の有価証券届出書作成日現在の運用報酬の上限額は、各投資信託証券の運用資産の純資産総額に対し、それぞれ年率0.8%および0.385%を乗じて得た金額となります。したがって、当該運用報酬を考慮した場合の 各コースの実質的な負担の上限は、年率2.032% (=1.232%+0.8%)となります。ただし、「ファースト・イーグル・グローバル・バリュースター・ファンド」の運用報酬の最低金額は25万円/ルとなっているため、純資産総額によっては年率2.032%を上回ることがあります。実際の信託報酬の合計額は投資信託証券の組入状況、運用状況によって変動します。
その他の費用・手数料	その他の費用・手数料として下記の費用等が投資者の負担となり、ファンドから支払われます。 ・有価証券売買時の売買委託手数料および組入資産の保管費用などの諸費用 ・信託事務の処理等に要する諸費用(監査費用、目論見書・運用報告書等の印刷費用、有価証券届出書関連費用等を含みます。) ・投資信託財産に関する租税等 ※その他の費用・手数料の合計額は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。

- ◆ファンドの費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。
- ◆ファンドの費用については、有価証券届出書作成日現在の情報であり、今後変更される場合があります。

委託会社、 その他の関係法人	委託会社：アムンディ ジャパン株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第350号 加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 日本証券業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 受託会社：野村信託銀行株式会社 販売会社：株式会社三井住友銀行 他	お問合せ先	アムンディ ジャパン株式会社 お客様サポートライン：060-4561-2500 受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで ホームページアドレス： https://www.amundi.co.jp/
-------------------	--	-------	---



株式会社三井住友銀行

登録金融機関 関東財務局長(登金)第54号
加入協会/日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

投資信託に関する留意点

- 投資信託をご購入の際は、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体となっている「目論見書補充書面」を必ずご覧ください。これは三井住友銀行本支店等にご用意しています。■投資信託は、元本保証および利回り保証のいずれもありません。■投資信託は預金ではありません。■投資信託は預金保険の対象ではありません。預金保険については窓口までお問い合わせください。■三井住友銀行で取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■三井住友銀行は販売会社であり、投資信託の設定・運用は運用会社が行います。

「ファースト イーグル ファンドシリーズ」特設サイト、アムンディの「着レポ」のご案内

アムンディ・ジャパン株式会社の
「ファースト イーグル ファンドシリーズ」
特設サイトもご覧ください！



スマホをかざして
今すぐアクセス！

タイムリーにメールが届く新サービス！アムンディの「着レポ」
「日興レジェンド・イーグル・ファンド」の情報がタイムリーに受け取れます。
是非ご登録ください！

タイムリーにメールをお届けします！
アムンディの「着レポ」

- ☑ 分配金のお知らせ
- ☑ 相場変動時の臨時レポート
- ☑ ファンドの運用報告や見通し

ご登録



個人情報の取扱いについては、ご登録画面にてご確認ください。